

5. 本時の学習（第一次第6時）

(1) 小単元名 Unit 4 An American *Rakugo-ka* Reading for Communication

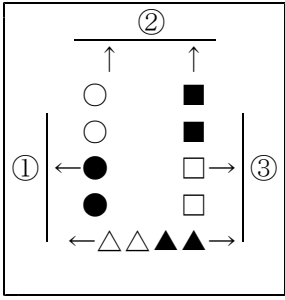
(2) ねらい 日米の文化の違いについて、工夫して友達と話し合することができる。

(3) 評価規準 日米の文化の違いについて、工夫して友達と話し合することができる。（表現の能力）

(4) 「活用力育成」のための活動

- ・日米の文化の違いについて友達と話し合う。（視点3）

(5) 展開

学習過程	配時	学習活動と予想される生徒の反応	評価(◆)と支援(◇)と留意点(※)
Warming up	5分	1 Question and Answer Are you interested in American culture? Do you know anything about it? etc.	
導入	5分	2 日米の文化の違いを聞く。 3 本時の課題を把握する。 日米の文化の違いについて、工夫して友だちと話し合おう。	※映像を見せることで興味・関心を持たせるようにする。 ※本時の課題を提示する。（視点1）
展開	8分	4 ペアで工夫しながら発表練習をする。 ・絵や写真を使いながら ・ジェスチャーをしながら ・ビデオを見せながら ・実物を見せながら	※発表する側には工夫した発表をするように、聞く側には積極的に質問や意見を言うように促す。 ※自分の座席で、工夫して発表練習をさせる。（視点2）
	17分	5 2ペアずつで3カ所に分かれて発表しあう。その際、質問や意見も言う。 	※意見や質問を必ず言わせる。 ◆日米の文化の違いについて、工夫して友達と話し合することができる。（表現の能力）（ノート 視点3） ◇【評価規準に到達していない生徒】ノートを見ながらゆっくり発表したり、ペアで質問をするよう促す。 ◇【評価規準に到達している生徒】発表を聞き、積極的に質問や意見を言わせる。
まとめ	10分	6 発表場所を変えてもう一度発表しあう。その際、質問や意見も言う。 7 2ペアが発表し、全体で意見交換を行う。	※友達の記事を聞くことで、いろいろな視点で日米の文化の違いに気づかせる。（視点3）
	5分	8 ワークシートで自己評価をする。 ・工夫ある発表ができたか。 ・発表を聞いて積極的に質問や意見が言えたか。 ・友だちの頑張っていたところは？	※生徒に司会をさせ、意見交換させる。言えない生徒には日本語で言わせる。